

「下阪本鯉のぼりまつり」(4月20日～5月31日)を実施

日本は江戸時代から、5月5日の端午の節句(こどもの日)前後に、鯉のぼりをあげる風習がありました。しかしながら、最近「やねより高いこいのぼり～」といった光景をあまり見なくなりました。誠に残念なことであります。これは少子化の影響や私たちが激しい時代の変化について行けず、年中行事の大切さをうまく伝承してこなかったからだと思います。



そこで、下阪本学区ではまちづくり協議会が中心となって、地域から提供していただいた鯉のぼり、並びに下阪本幼稚園児や下阪本小学校の児童が制作した鯉のぼりを坂本城址公園周辺・東南寺川下流に掲揚しました。春風を受けて元気よく泳いでいました。この場所に立っているだけで、心が癒やされて笑顔になれたのではないのでしょうか。幼稚園児や小学生、そして子どもを連れてご家族もたくさんきてくださいましたが、鯉のぼりが元気よく泳ぐ青空を見上げた経験は、きっと大人になってよい思い出として残るでしょう。

「びわこマリンスポーツ教室」大いに盛り上がる(55名参加)



子どもたちに湖のレジャーに親しんでもらおうと、下阪本マリンスポーツ実行委員会主催の「びわこマリンスポーツ教室」が去る7月25日、ヤマハマリーナ琵琶湖において4年ぶりに実施されました。この教室は下阪本小学校の5・6年生に児童が対象で55名の参加者があり、4種類のマリンスポーツを体験しました。前日の雷を伴った悪天候とは打って変わって好天に恵まれ、子どもたちはミニヨット、ボート、バナナボート、ヨット体験ができ、マリンスポーツの醍醐味を思う存分味わいながら楽しんでくれたと思います。

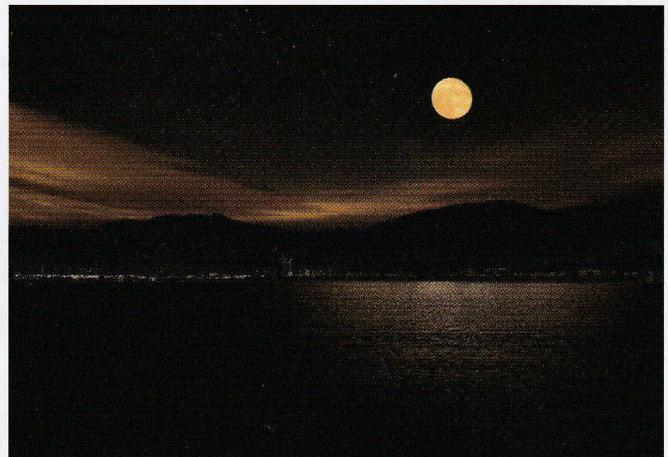
今回のマリンスポーツ教室に参加して、「乗る前はこわかったけど、バナナボートが一番楽しかった」「ミニヨットの操縦はむずかしかったが、できてうれしかった」「すごく楽しかった。波があたると涼しく感じた」「来年もぜひ参加したい」と、どの子の評価もすこぶる高かったようです。この教室を通して、子どもたちは自然のすばらしさを、また琵琶湖の壮大さを満喫できたのではないのでしょうか。きっと、夏休みのよき思い出となったでしょう。実行委員会の皆様・ヤマハマリーナ琵琶湖の皆様、子どもたちにすばらしい体験を提供して下さってありがとうございます。

* しもさかもと再発見 ---湖都彩々--- ⑰ *



夏のびわ湖 志津浜・朝の風景

寄せ波と引き波が重なって複雑な動きをしていました。リズムカルな波音もまた癒されます。



スーパームーン 七本柳(7月)

自然の美しさと宇宙の不思議を同時に体験できる貴重な機会でした。(写真 堀井忠男)